

8/26 長崎

28日、大村で政策討論会

衆院長崎3区の立候補予定者の「公開討論会」が二十八日午後六時から、大村市水主町一丁目の長崎インターナショナルホテルで開かれる。

立候補予定者の政策を直接聞き、市民に政治への関心を高めてもらおうと大村青年会議所（北村貴寿理事長）が企画した。

3区立候補者2人 青年会議所が企画

自民前職の谷川弥一氏（巴）と民主前職の山田正彦氏（六三）が登壇。政策や実績などをそれぞれ話した後、「郵政民営化」「長崎新幹線」「年金問題」「自衛隊イラク派遣」など六項目について討論する。

入場無料。問い合わせは同会議所（電0957・52・6391）。

8/29 読売

3区候補予定者 大村で公開討論

谷川氏と山田氏
長崎3区に立候補を予定している自民党前議員・谷川弥一氏と民主党前議員・山田正彦氏による公開討論

会が28日、大村市内のホテルで開かれた。大村青年会議所が企画し、約200人が参加。両氏はそれぞれ自己PRした後、個別課題について討論を展開した。

郵政民営化について、同関連法案に賛成した谷川氏は「民営化されても郵便局はなくなるという仕組みを作った。絶対につぶれない」と主張。山田氏は「まずは郵政公社を存続し、郵便貯金などの資金を地域の活性化に役立てる方策を考えるべきだ」と反論した。

8/29 長崎

3区の立候補予定者

政策、熱く訴え

谷川、山田両氏が公開討論

【大村】衆院長崎3区の立候補予定者の「マニフェスト（政策）公開討論会」（大村青年会議所主催）が二十八日夜、大村市内のホテルであり、自民前職の谷川弥一氏（六三）と民主前職の山田正彦氏（六三）が郵政民営化や年金問題などについて意見を戦わせた。

約二百人の参加者を前に、同会議所の北村貴寿理事長が「候補者の政策を比較して投票の判断材料にしてほしい」とあいさつ。谷川、山田両氏がそれぞれ演説した後、「郵政民営化」「長崎新幹線」など六項目について、交代で各五分ずつ意見を述べた。



政策を訴える谷川氏（左）と山田氏
＝大村市水主町、長崎インターナショナルホテル

大村

交問題などでも双方が主張を述べた。

傍聴した大村市内の男性会社員は「一対一の討論が聞きたかった。少し物足りない」と感想。市内の自営業の女性は「郵政民営化などについて両方の考えを聞けてよかった」と話した。

郵政民営化について、山田氏は「郵便局は残すべき。郵貯の資金を中小零細企業などに貸し付け

る制度ができないか検討している」と主張。これに対し、谷川氏は「郵便局はつぶさない。ネットワークを維持するために二兆円の基金をつくらなければならないため、次世代に借金を残さすべし」と述べた。景気対策や年金、外

公示前、最後の週末

公開討論会や決起集会

3、4区で前哨戦激しく

衆院選が三十日、公示される。今のところ、県内四小選挙区で自民、民主、共産、社民の計十一人が立候補を予定。公示前の最後の週末となった二十七、二十八日、激戦が予想される長崎3、4区では、総決起大会や立候補予定者の公開討論会などが行われ、選挙本番を前に激しい前哨戦を繰り広げた。



4区では二十七日夜、

民主党4区総支部支援労働会議が佐世保市内で総決起集会。佐世保重工業（SSK）労組や全郵政など労組十三団体、約八百人が集まり、出席した民主元職の宮島大典氏（画）の支援に向け「一致



長崎3区の公開討論会で立候補予定者の話に聞き入る有権者

団結して頑張ろう」と気勢を上げた。

社民元職の今川正美氏（五）は二十八日昼、佐世保地区労働員らとともに、同市中心部の商店街アーケードで街頭演説。マイクを手に「4区の立

候補予定者の中で、郵政民営化に一貫して反対し続けたのは私だけだ」と訴えた。

自民前職で公明の推薦を受けた北村誠吾氏（五）も同日、古賀誠・自民党元幹事長や4区選出の県

議ら約二千三百人を招き、同市内で後援会の総決起大会を開催。壇上からは、選挙区は北村氏を、比例代表は公明に」との声が響いた。

自民と民主の一騎打ちが予想される3区では二十八日夜、大村市内のホテルで公開討論会があり、立候補を表明している自民前職の谷川弥一氏（六）と民主前職の山田正彦氏（六）が論戦を展開した。

立候補予定者の政策を聞き比べて投票の参考にしておおうと、大村青年会議所（北村貴寿理事長）が初めて開催。今回の衆院解散後、県内でも初の試みとあって、会場には約二百人の市民が集まった。

両氏の自由演説の後、郵政民営化や自衛隊イラク派遣など六つの課題について両氏が持論を展開。谷川氏は「少子高齢化に対応するため、構造改革は避けて通れない。だが、離島などハンディを持った地域の痛みを和

らげる施策も必要だ」と述べると、山田氏は「食の安全」をライフワークとして取り組んできた。農漁業者への直接支払い制度による食糧自給率アップを成し遂げたい」と得意分野で応じた。

4選挙区11人が準備

総選挙 あす公示

8/29 朝日

3区 2氏、政策討論会で舌戦

35日 決選

論会」へ。冒頭の演説で谷川氏は「構造改革は、政官財の癒着を崩し、きよう生まれた子供のための取り組みだ」と小泉政権の財政再建の施策に理

解を求めた。山田氏は「小泉政権の中央重視の政策で、長崎の景気は悪くなる一方だ。地方を大事にする政治に努めた」と切り返した。

後半の討論会は、郵政民営化や社会保障、安全保障政策など、日本や長崎が直面する6つの課題について両氏が持論を展開した。

自民前職の谷川弥一氏(64)と民主前職、山田正彦氏(63)による一騎打ちの可能性が高い3区。谷川氏は彦岐市から空路で大村市へ。山田氏は27日に続き同市にとどまり、両氏とも各地で集いやあいさつ回りをこなし

た。
午後6時、2人は市内のホテルで大村青年会議所が開いた「政策公開討